

## マンヌロン酸特異的アルギン酸リラーゼ

Cat. No. EXWM-5103

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** 酵素は、 $\beta$ -脱離反応によってアルギン酸の分解を触媒します。これは、 $\beta$ -D-マンヌロン酸と $\alpha$ -L-グルロン酸または $\beta$ -D-マンヌロン酸の間の(1 $\rightarrow$ 4)結合を切断し、非還元末端に4-デオキシ- $\alpha$ -L-エリスロ-ヘキサ-4-エンウロンシル基を持ち、還元末端に $\beta$ -D-マンヌロン酸を持つオリゴ糖を生成します。基質の組成に応じて、酵素は2から4残基のオリゴ糖を生成し、短い生成物を好みます。参照: EC 4.2.2.11、グルロン酸特異的アルギン酸リラーゼ。

**別名** アルギン酸リラーゼ I; アルギン酸リラーゼ; アルギナーゼ I; アルギナーゼ II; アルギナーゼ; ポリ( $\beta$ -D-1,4-マンヌロン酸)リラーゼ; ポリ( $\beta$ -D-マンヌロン酸)リラーゼ; aly (遺伝子名) (あいまい); ポリ[(1 $\rightarrow$ 4)- $\beta$ -D-マンヌロン酸]リラーゼ

### 製品情報

**形態** 液体または凍結乾燥粉末

**EC番号** EC 4.2.2.3

**CAS登録番号** 9024-15-1

**反応** アルギン酸の除去的切断により、非還元末端に4-デオキシ- $\alpha$ -L-エリスロ-ヘキサ-4-エンウロン酸基を持ち、還元末端に $\beta$ -D-マンヌロン酸を持つオリゴ糖が生成される。

**備考** このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

### 保管・発送情報

**保存方法** 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C ~ -80 °C で保管してください。